

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公開番号】特開2009-106459(P2009-106459A)

【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2007-280998(P2007-280998)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示可能な画像表示装置を備え、識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果となったときに遊技状態を遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段と、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

複数の画像データを記憶する画像データ記憶手段と、

前記画像データ記憶手段から表示用記憶手段に転送された画像データにもとづいて前記画像表示装置に画像を表示させる処理を行う描画手段と、

前記遊技制御手段が出力するコマンドにもとづいて、前記画像表示装置の表示状態を制御するための情報を前記描画手段に出力する制御情報出力手段と、

遊技機に対する電力供給が開始されたときに、前記画像データ記憶手段に記憶されている複数の画像データの少なくとも一部を前記一時記憶手段に転送する初期データ転送処理を実行する初期データ転送手段とを備え、

前記画像データ記憶手段には、識別情報を可変表示する際の表示演出に使用される複数の画像データを含む第 1 データと、識別情報を可変表示する際の表示演出に使用される複数の画像データを含むデータであって前記第 1 データのデータ量よりも少ないデータ量の第 2 データとが記憶され、

遊技機に対する電力供給が開始され所定条件が成立した後、識別情報を可変表示するときに、前記第 1 データを使用して前記画像表示装置に画像を表示させる処理を行う第 1 画像表示手段と、

前記所定条件が成立するまで、識別情報を可変表示するときに、前記第 2 データを使用して前記画像表示装置に画像を表示させる処理を行う第 2 画像表示手段と、

前記操作手段が操作されたことにもとづいて前記画像表示装置に所定の表示演出画像を表示させるための処理を行う所定演出制御手段と、

前記第 2 画像表示手段により前記第 2 データを使用して前記画像表示装置に画像が表示されるときには、前記操作手段が操作されても前記所定の表示演出画像を表示させる処理の実行を禁止する所定演出禁止手段とを備えた

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、予告決定手段により予告演出を実行することに決定され、第1画像表示手段により第1データを使用して画像表示装置に画像が表示されているときに、操作手段が操作されたことを条件に予告演出を実行するように構成することにより、遊技者が自身の操作によって演出内容を変えたように感じさせることができ、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、所定演出制御手段が、操作手段が操作されたことにもとづいて画像表示装置の表示態様を変更させる処理を行い、所定演出禁止手段が、第2画像表示手段により第2データを使用して画像表示装置に画像が表示されるときには、操作手段が操作されても所定演出制御手段による画像表示装置の表示態様を変更させる処理の実行を禁止するように構成することにより、遊技者が自身の操作によって演出内容を変えたように感じさせることができるとともに、画像表示装置の表示態様を変更させる処理が実行されないようにすることによって初期データ転送手段による初期データ転送処理を迅速に完了させることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、第1データにもとづく表示が、所定の可変表示速度で識別情報を可変表示する第1態様と、第1態様の可変表示速度よりも可変表示速度が遅い1つ以上の態様とを含み、第2画像表示手段が、第1態様のみの画像を画像表示装置に表示させる処理を行い、描画手段が、可変表示終了コマンドを受信したときに、表示結果特定コマンドにもとづく表示結果を画像表示装置に停止表示させる処理を行う表示結果導出手段を含むように構成することにより、確定コマンドを受信するまで可変表示速度を制御する必要がなくなり、描画手段の制御負担が軽くなる。その結果、初期データ転送手段による初期データ転送処理を迅速に完了させることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、描画手段が、復旧コマンドを受信したことにもとづいて画像表示装置に電力供給が復旧したことを認識可能な情報を表示させる処理を行う報知手段と、確定コマンドを受信したときに、表示結果特定コマンドにもとづく表示結果を画像表示装置に停止表示させる処理を行う表示結果導出手段とを含むように構成することにより、初期データ転送手段

による初期データ転送処理を迅速に完了させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また、描画手段が、データバスのバス幅を所定のバス幅に設定した状態で画像データ記憶手段から画像データを読み出すとともに、所定の条件が成立したときにデータバスのバス幅を所定のバス幅とは異なる特定のバス幅に変更して画像データ記憶手段から画像データを読み出すように構成されているので、データバスのバス幅が広いバス幅に設定されているときに画像データが読み出される画像データ記憶手段と比較すると、データバスのバス幅が狭いバス幅に変更されたときに画像データが読み出される画像データ記憶手段として、少ないビットのデータ入出力可能なROMを使用することができ、画像データ記憶手段にかかるコストを低減することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、描画手段が、画像データ記憶手段に記憶されている第1画像データまたは第2画像データにもとづいて画像表示装置に画像を表示させる処理を行うときに、第1画像データまたは第2画像データの画素数を所定の拡大率に応じて画像表示装置に対応する画素数に増大させて画像を表示させる処理を行い、所定の切替条件が成立したときに、描画手段に対して、使用する画像データを第1画像データと第2画像データとの間で切り替えることを示す情報を出力するとともに、拡大率を切り替えることを示す情報を出力する拡大率制御手段を備えることにより、全ての画像データを画素数が多いものにしてデータ量が増大してしまうことを防止しつつ、画像表示装置の画面の画素数に応じた表示を実現することができ、表示演出に関して遊技者に違和感を与えることはない。